

=補強材 屋根鉄骨リスト=

HKB1	H-200x200x8x12	PL-16	継手 F:外PL-12、内PL-9、HTB 6-M20 継手 W:2PL-6、HTB 2x2-M20	頭付スリット 16φ-#200 ³ ﾌﾙ
	H-200x100x5.5x8	GPL-6、HTB 2-M16		
	接着系ﾌﾝｶﾞ	D19-#200ｼﾝｸﾞﾙ		
	ｽﾘｯﾌﾟﾙ	6φ-#50-径120		

平田体育館改修工事

設計図

図名

耐震補強 1階伏図

SCALE

S=1:200

ファイル名

R5官庁

平田体育館

K01-IFKB

2024.01.

一級建築士事務所

株式会社野崎設計

〒503-1384

岐阜県養老郡養老町下笠1825番地の1

E-Mail: nozaki-k@guitar.ocn.ne.jp

TEL: 0584-35-2300

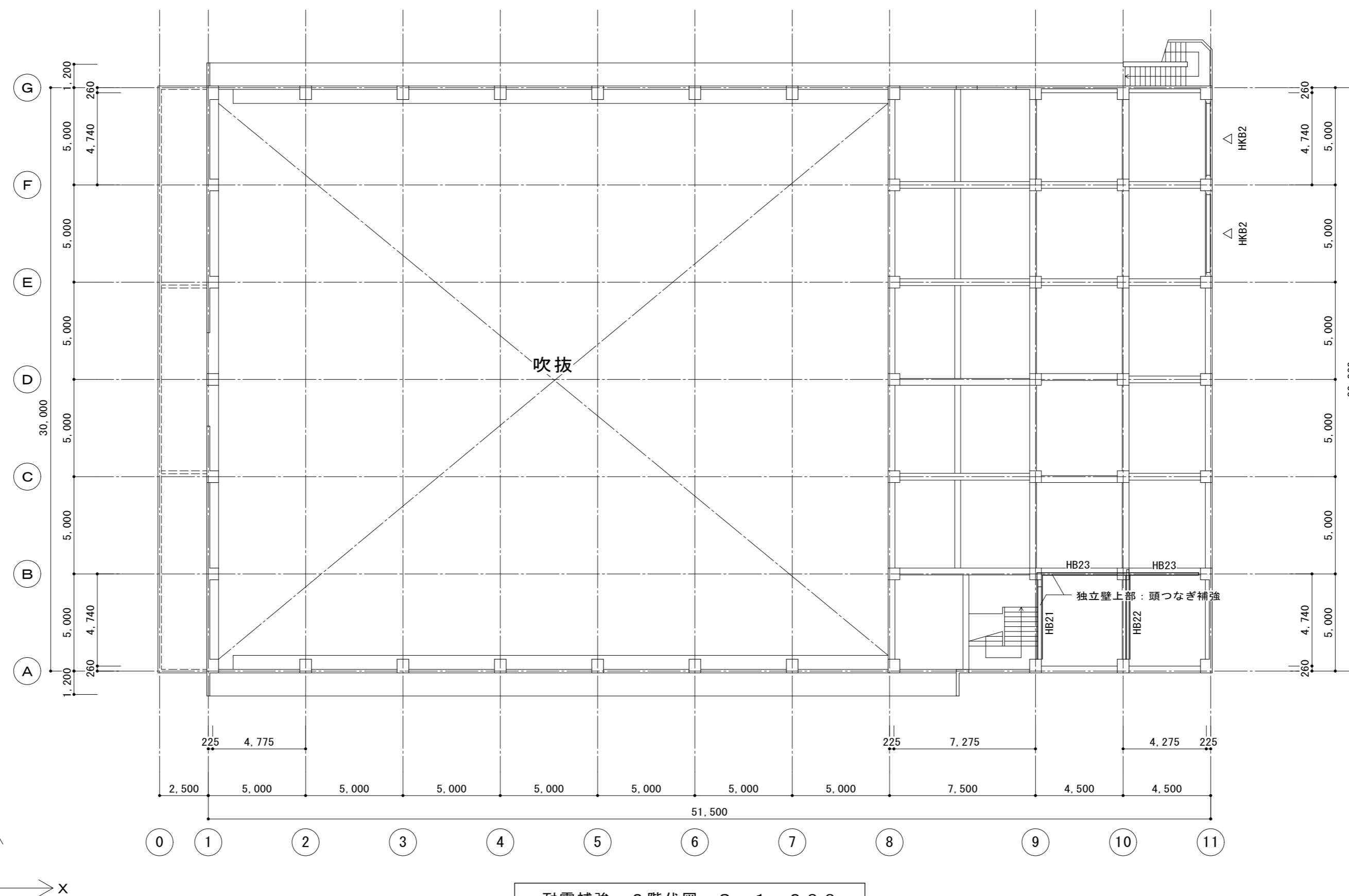
FAX: 0584-35-2389

一級建築士

193200号

野崎 新太郎

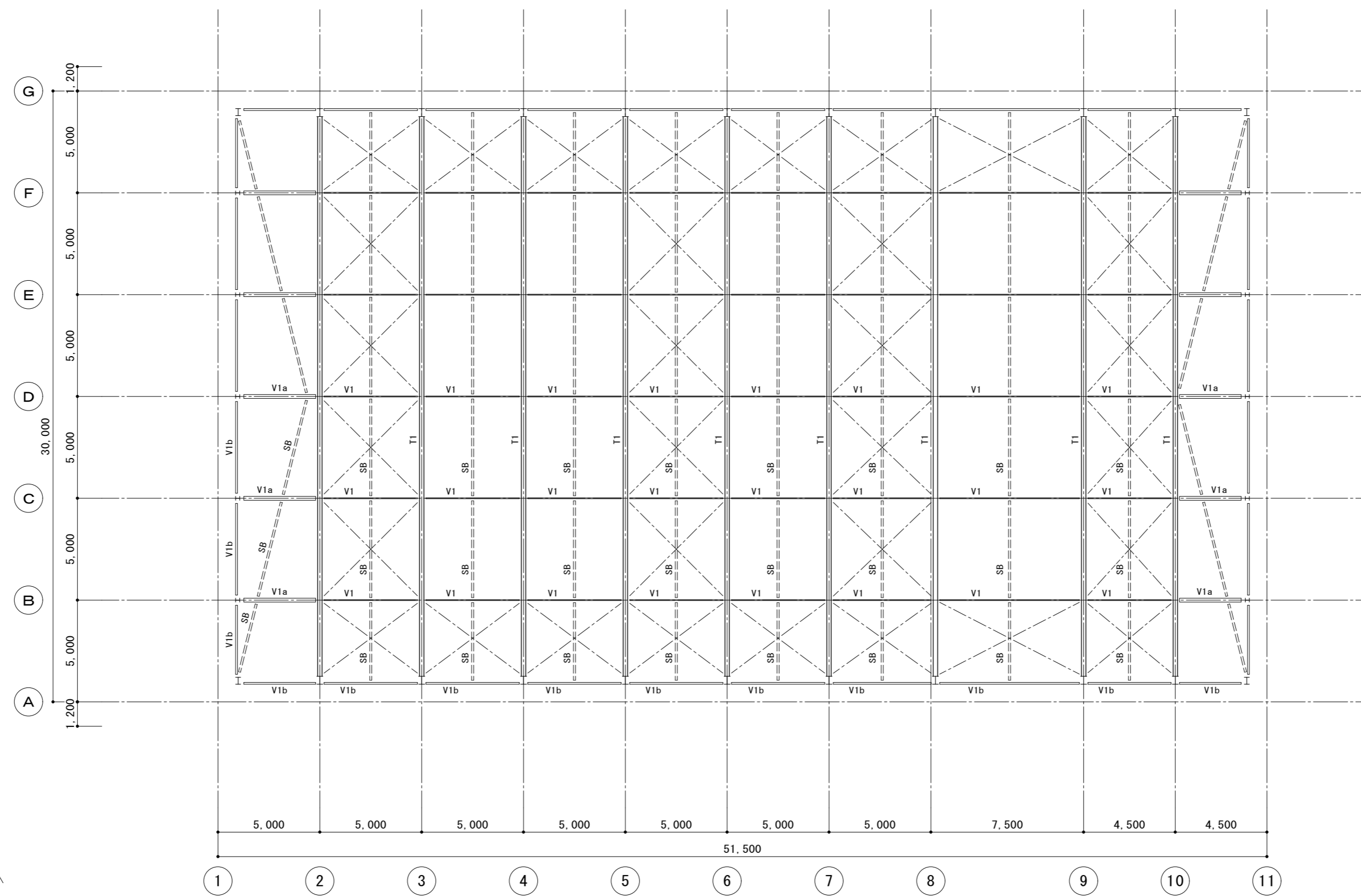
No. K-01



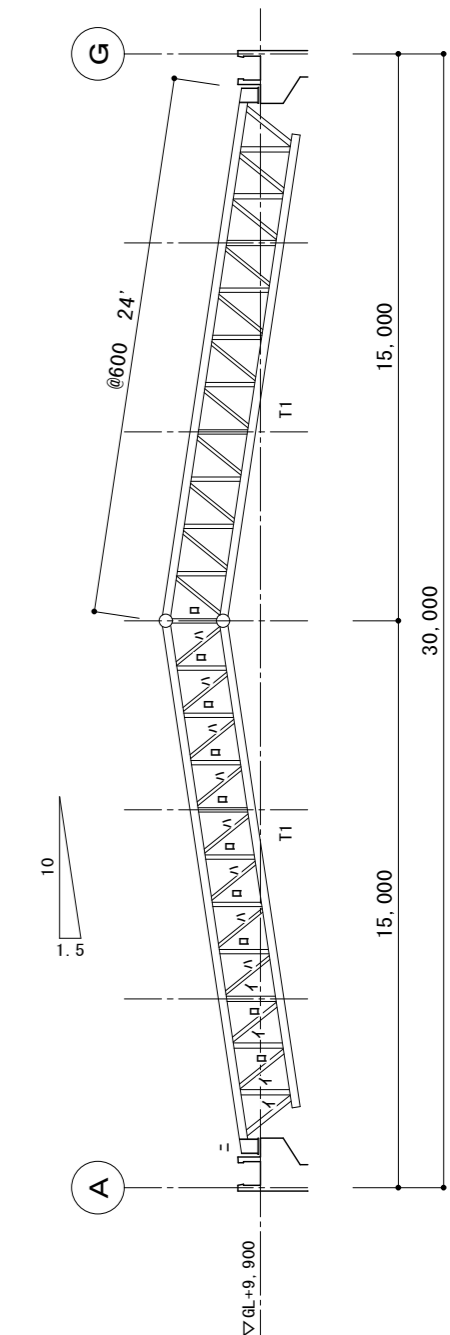
耐震補強 2階伏図 S=1:200

=補強材 屋根鉄骨リスト=

HKB2	H-200x200x8x12 PL-16	継手 F:外PL-12、内PL-9、HTB 6-M20 継手 W:2PL-6、HTB 2x2-M20	頭付スリット 16φ-#200 ³ ﾌﾞﾙ	HB21	H-294x200x8x12	接着系ﾌﾝｶｰ D16-#500 埋込長さ130
	H-200x100x5.5x8 GPL-6、HTB 2-M16			HB22	H-190x150x6x9	接着系ﾌﾝｶｰ D16-#500 埋込長さ130
	接着系ﾌﾝｶｰ D19-#200ｼﾝｸﾞﾙ			HB23	H-100x100x6x8	GPL-9、HTB 2-M16 BPL-12x250x250 接着系ﾌﾝｶｰ 4-D16 埋込長さ180
	ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋 6φ-#50-径120					

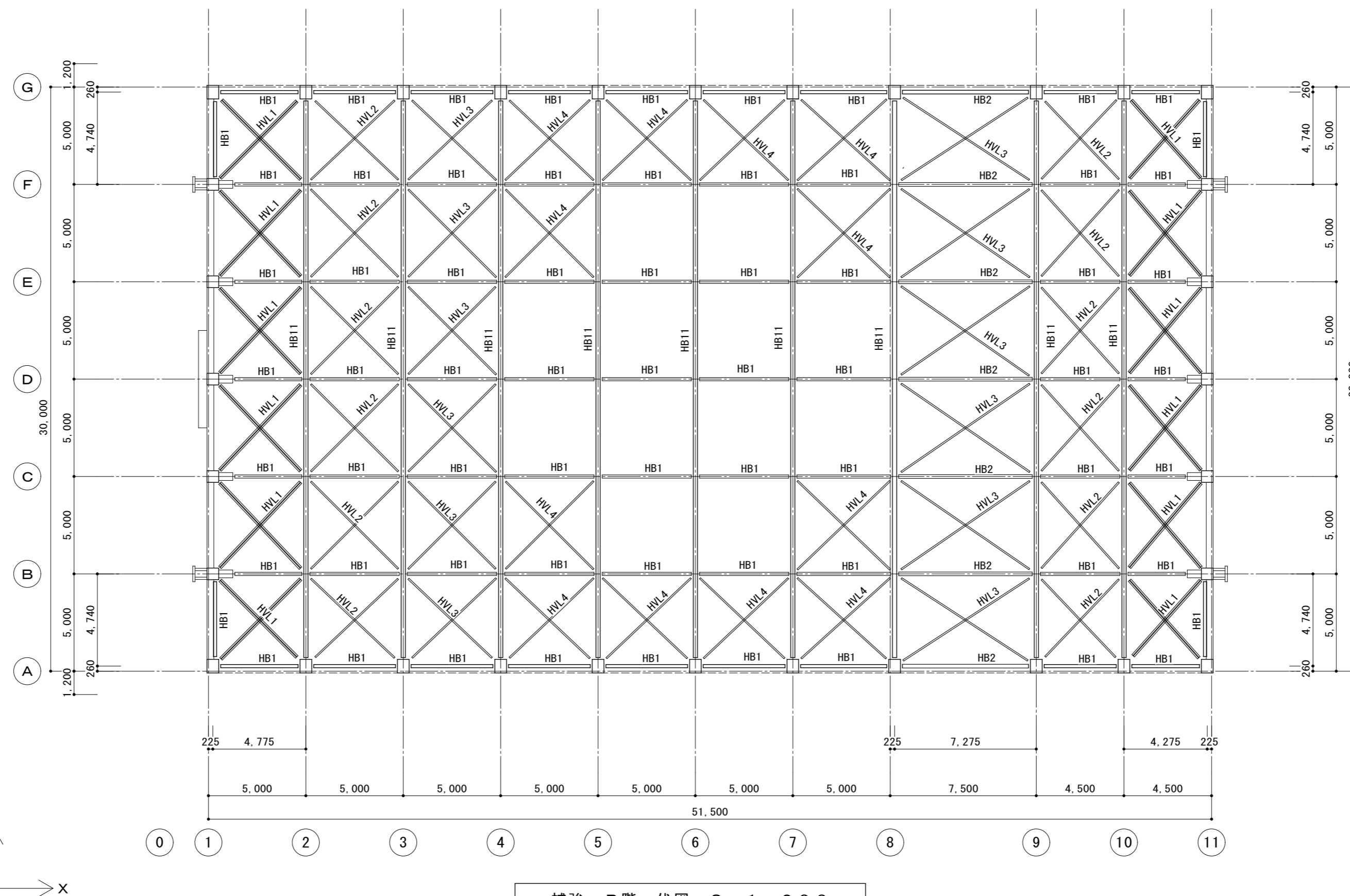


現況 R階 伏図 S=1:200



=既設 屋根鉄骨リスト=	
T1	上下弦 : P-216.3Φ × 8.2 ㄥ : P-139.8Φ × 4.5 □ : P-114.3Φ × 4.5 ㄩ : P-89.1Φ × 4.0 ㄚ : H-390x300x10x16 斜材 : 60.0°
V1	上下弦 : P-48.6Φ × 3.2 斜材 : P-34.0Φ × 2.3 斜材 : 60.0° 縦材 : P-34.0Φ × 2.3
V1a	P-190.7Φ × 5.3
V1b	H-175x90x5x8
SB	2C-100 × 50 × 20 × 2.3
ブレース	16Φ (ク-ハ' ヲ別付)
母屋	C-75x45x15x2.3

平田体育館改修工事	設計図	図名 現況 R階 伏図	SCALE S=1:200	ファイル名 R5官庁 平田体育館 K03-RFKR 2024_01.	一級建築士事務所	株式会社 野崎設計	〒503-1384 岐阜県養老郡養老町下笠1825番地の1 E-Mail: nozaki-k@guitar.ocn.ne.jp	一級建築士 193200号 野崎 新太郎	No. K-03
				TEL: 0584-35-2300 FAX: 0584-35-2389					



補強 R階 伏図 S=1:200

=補強材 屋根鉄骨リスト=

HB1	○-165.2x6.0	GPL-9、HTB 2x2-M20		躯体取合いは詳細図参照
HB2	○-190.7x7.0	GPL-9、HTB 2x2-M20		躯体取合いは詳細図参照
HB11	○-165.2x6.0、端部：○-216.3x12.7	PL-16xΦ360、HTB 8-M20・PL-9、HTB 2-M20・PL-9、HTB 2-M20(2カ所)	既設鉄骨取付PL-9	躯体取合いは詳細図参照
HVL1	2L-75x75x9	端部：GPL-12、HTB 5-M20	交差部：GPL-12、HTB 5-M20	躯体取合いは詳細図参照
HVL2	2L-75x75x9	端部：GPL-12、HTB 5-M20	交差部：GPL-12、HTB 5-M20	躯体取合いは詳細図参照
HVL3	L-75x75x12	端部：GPL-9、HTB 5-M20	交差部：GPL-9、HTB 5-M20	躯体取合いは詳細図参照
HVL4	L-75x75x9	端部：GPL-9、HTB 5-M20	交差部：GPL-9、HTB 5-M16	躯体取合いは詳細図参照

平田体育館改修工事

設計図

図名
耐震補強 R階伏図

SCALE
S=1:200

ファイル名
R5官庁
平田体育館
K04-RFKN
2024.01.

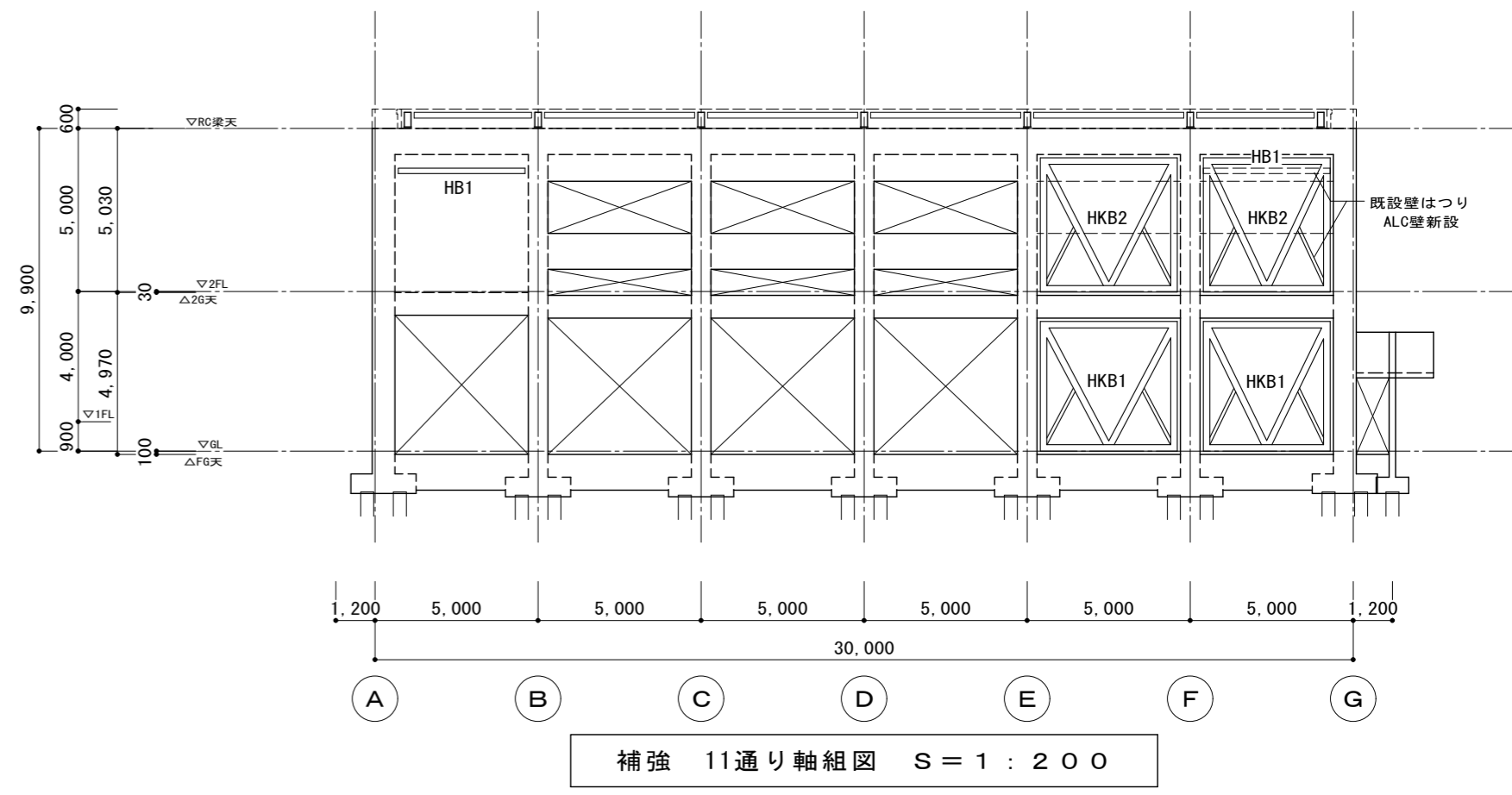
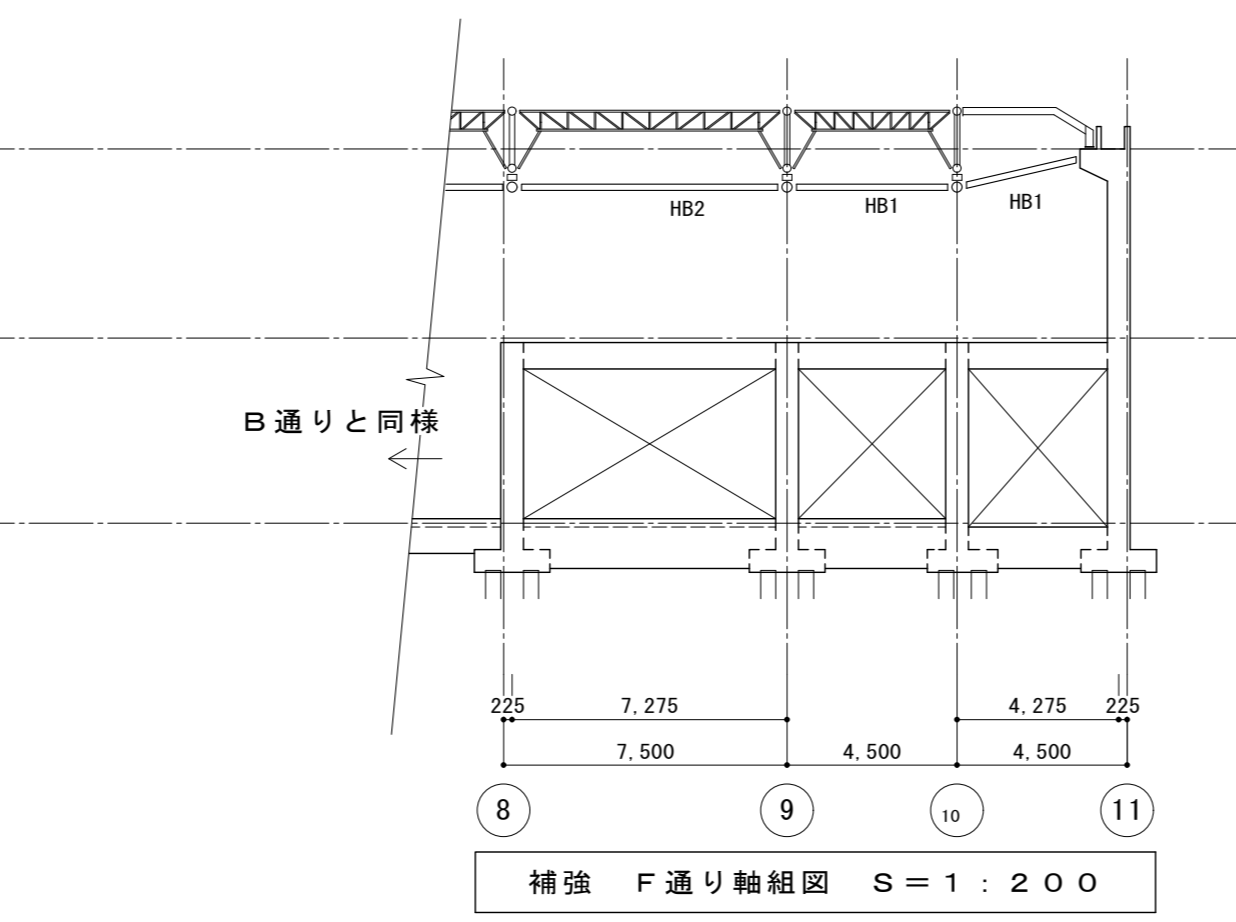
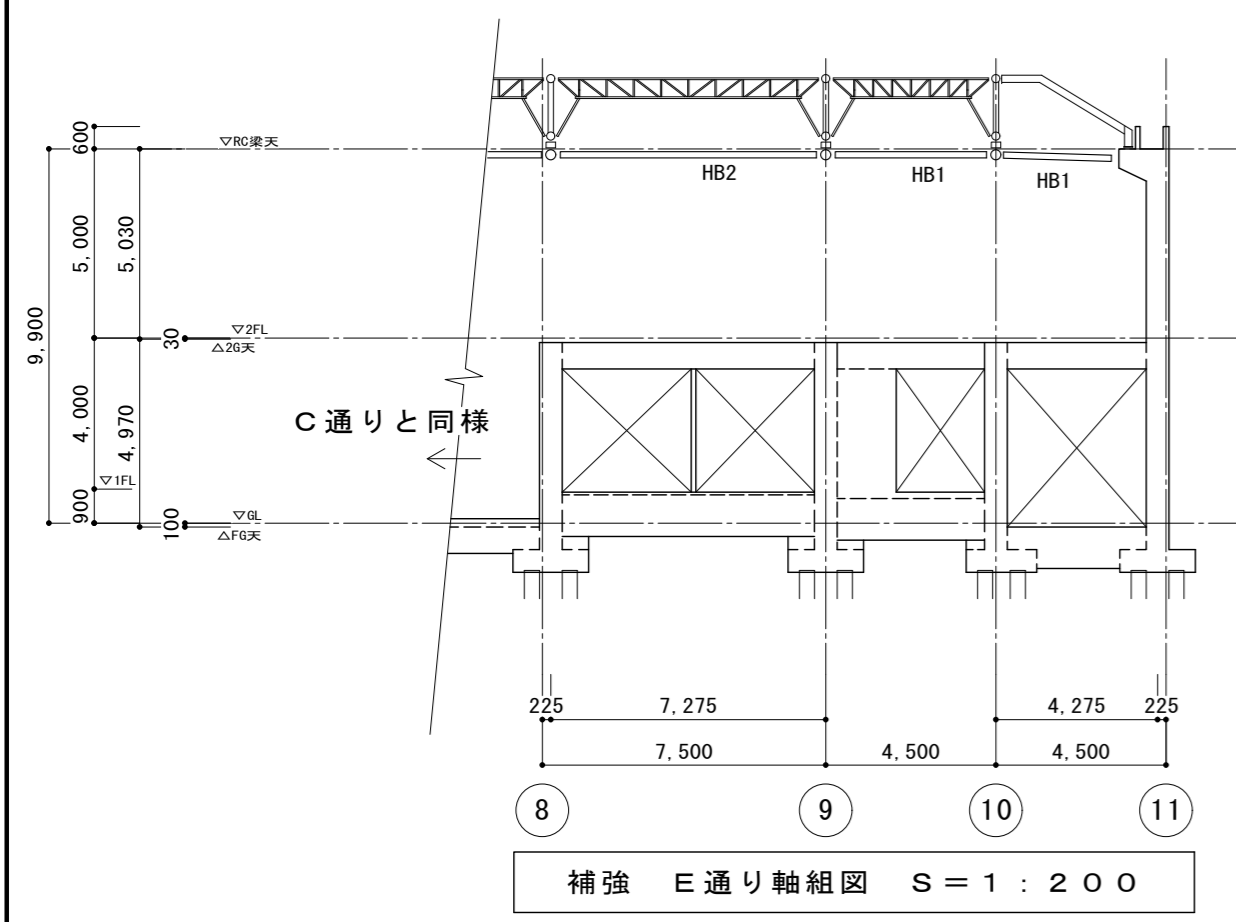
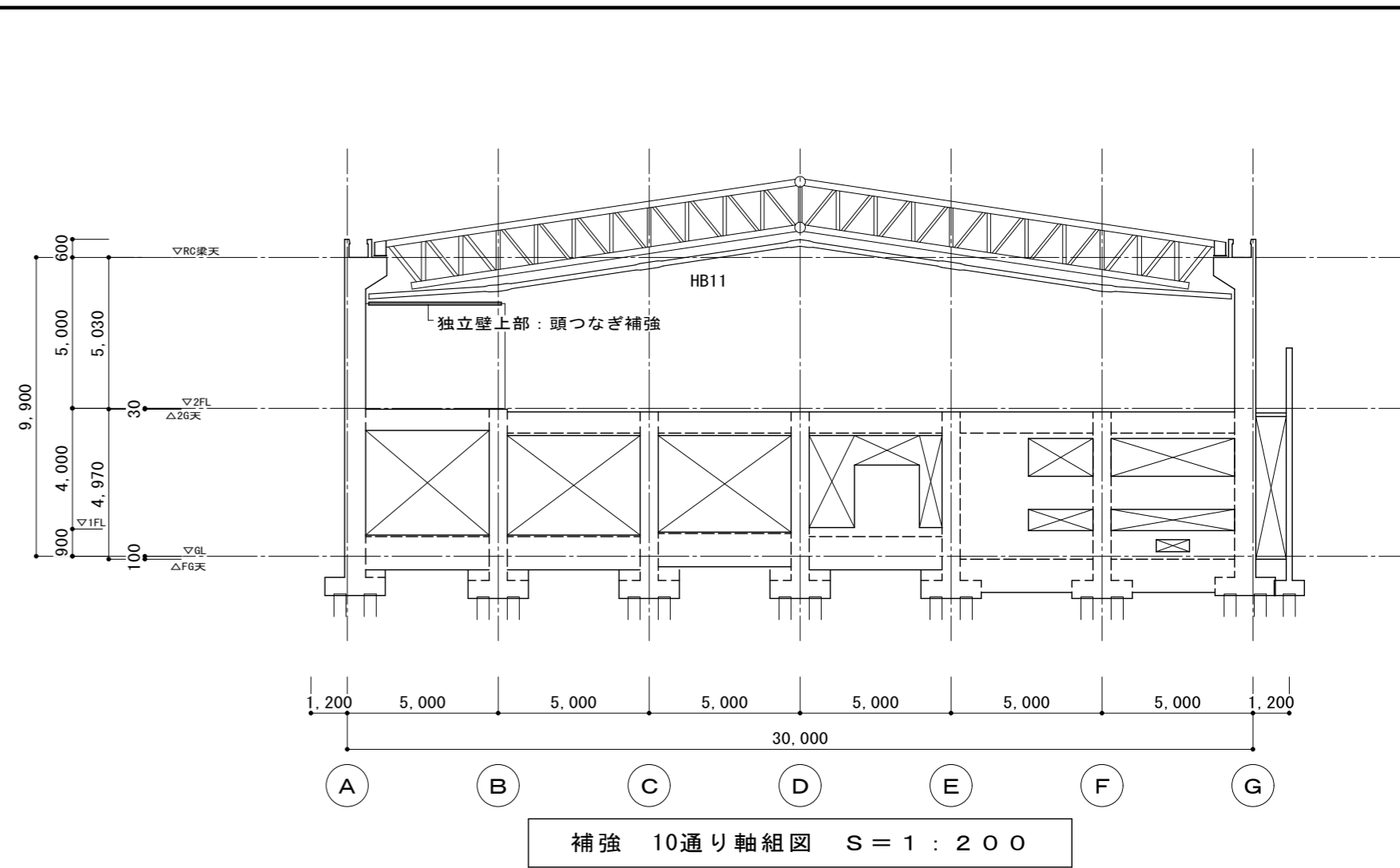
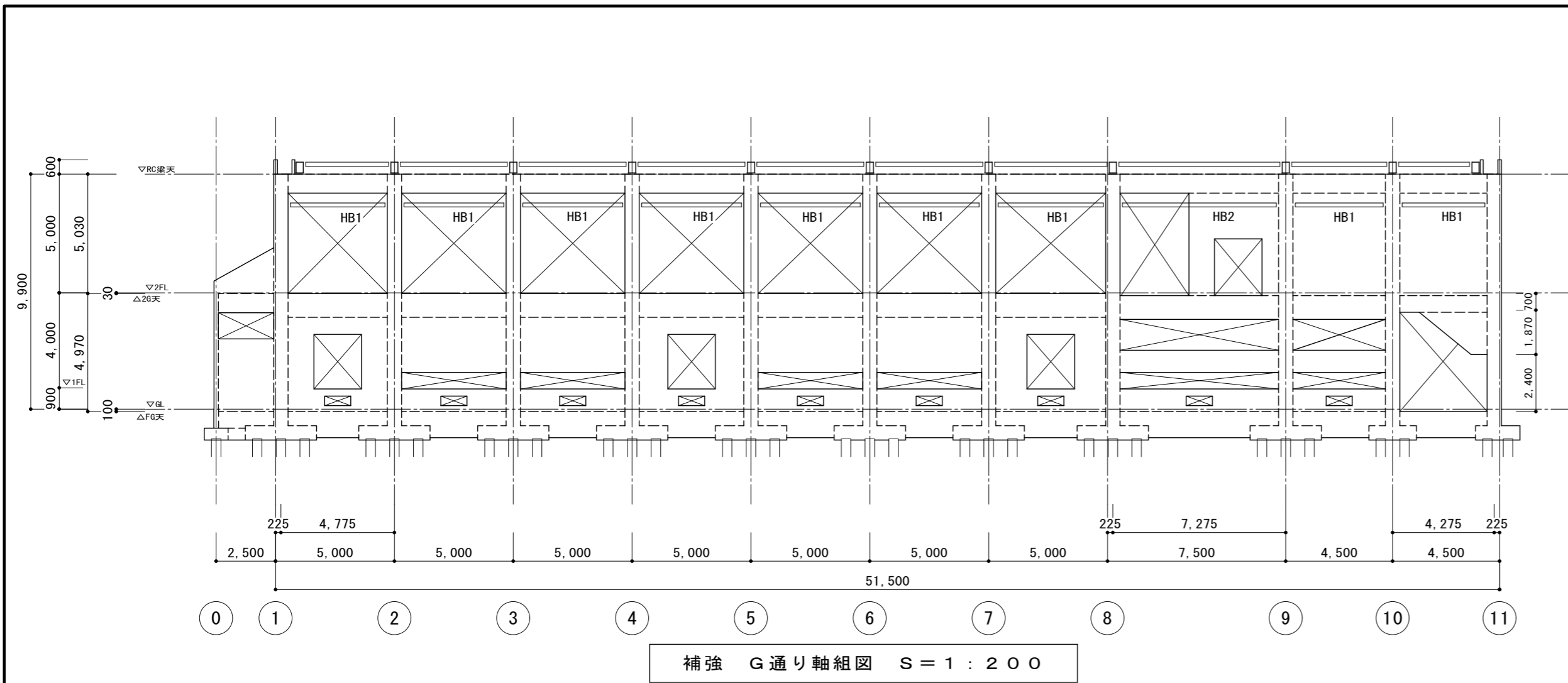
一級建築士事務所

株式会社野崎設計

〒503-1384
岐阜県養老郡養老町下笠1825番地の1
E-Mail: nozaki-k@guitar.ocn.ne.jp
TEL: 0584-35-2300
FAX: 0584-35-2389

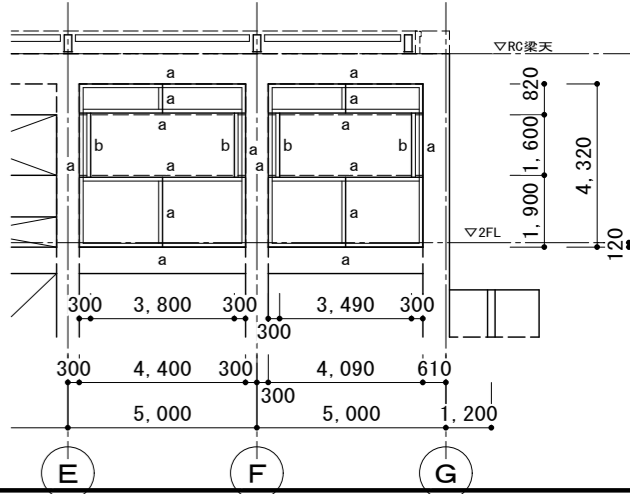
一級建築士
193200号
野崎 新太郎

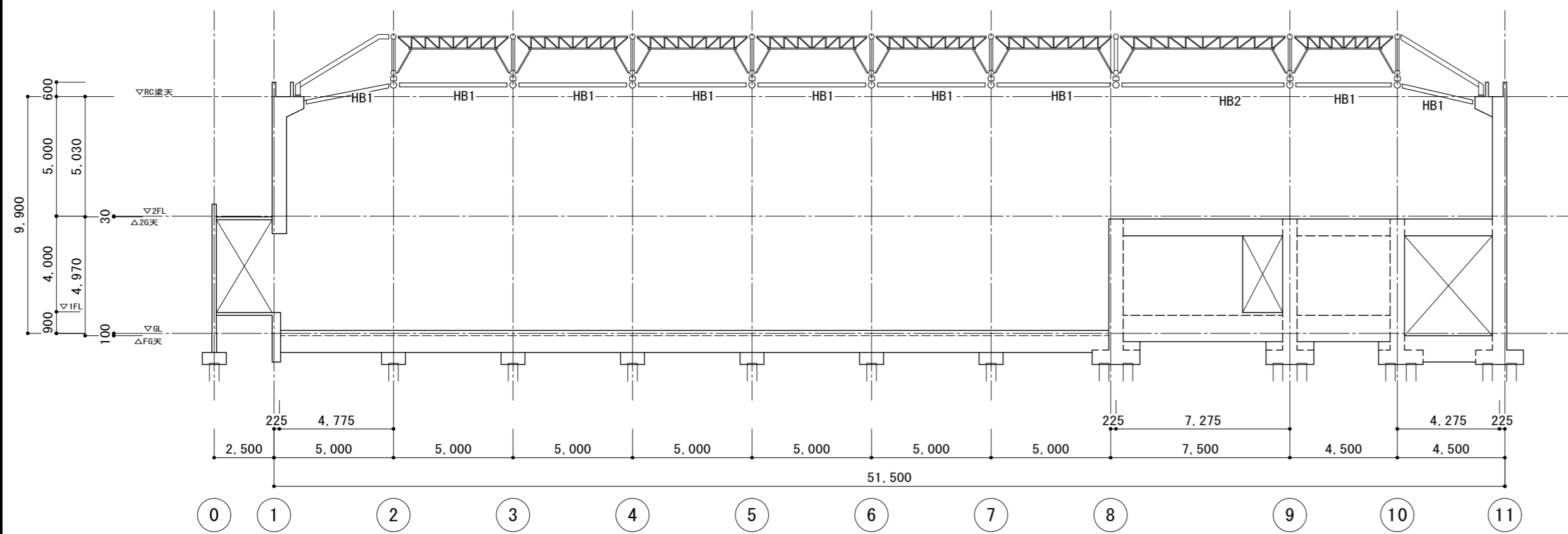
No. K-04



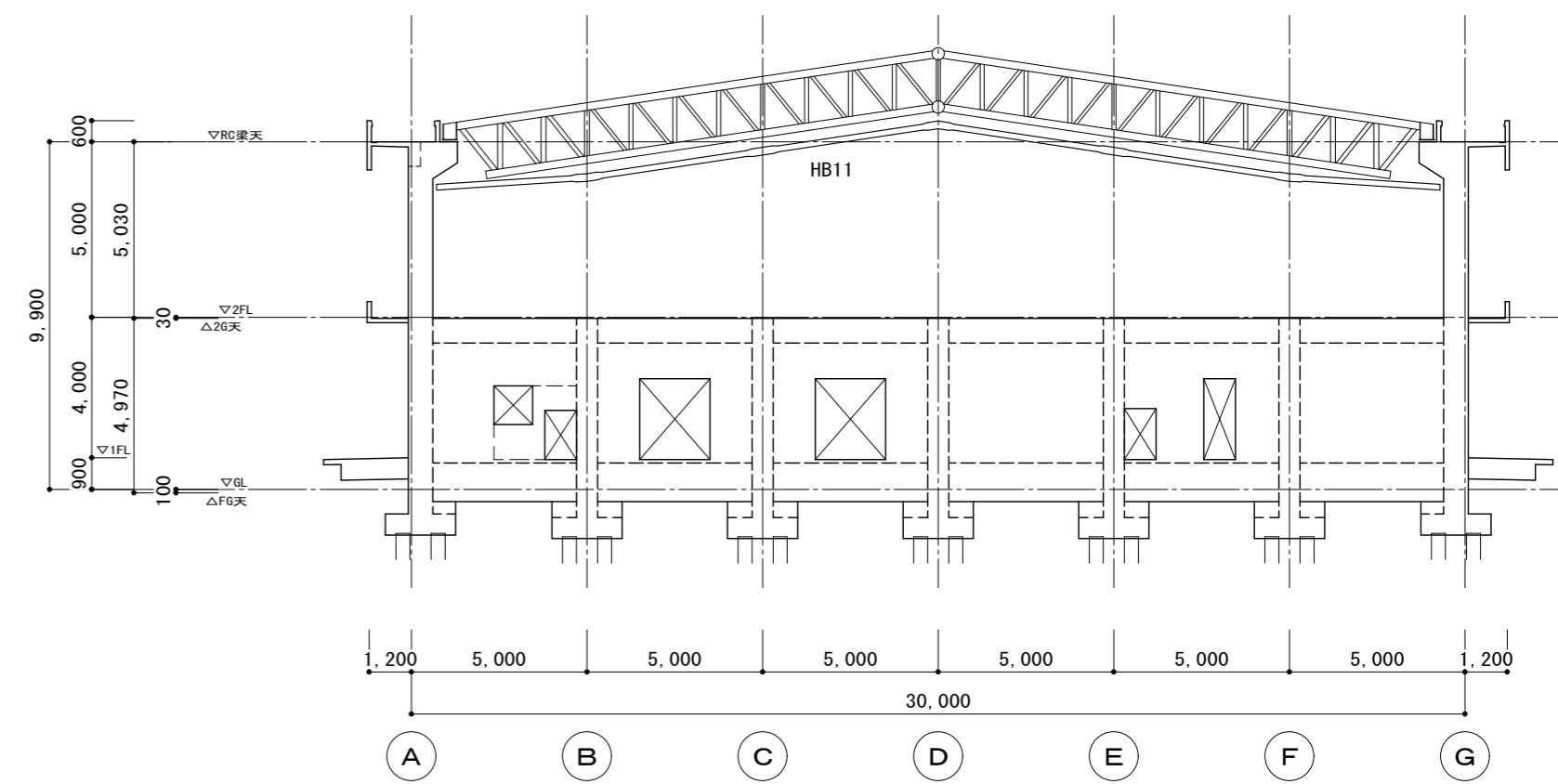
=補強材 リスト=

a材	L-100×100×13
b材	L-75×75×9

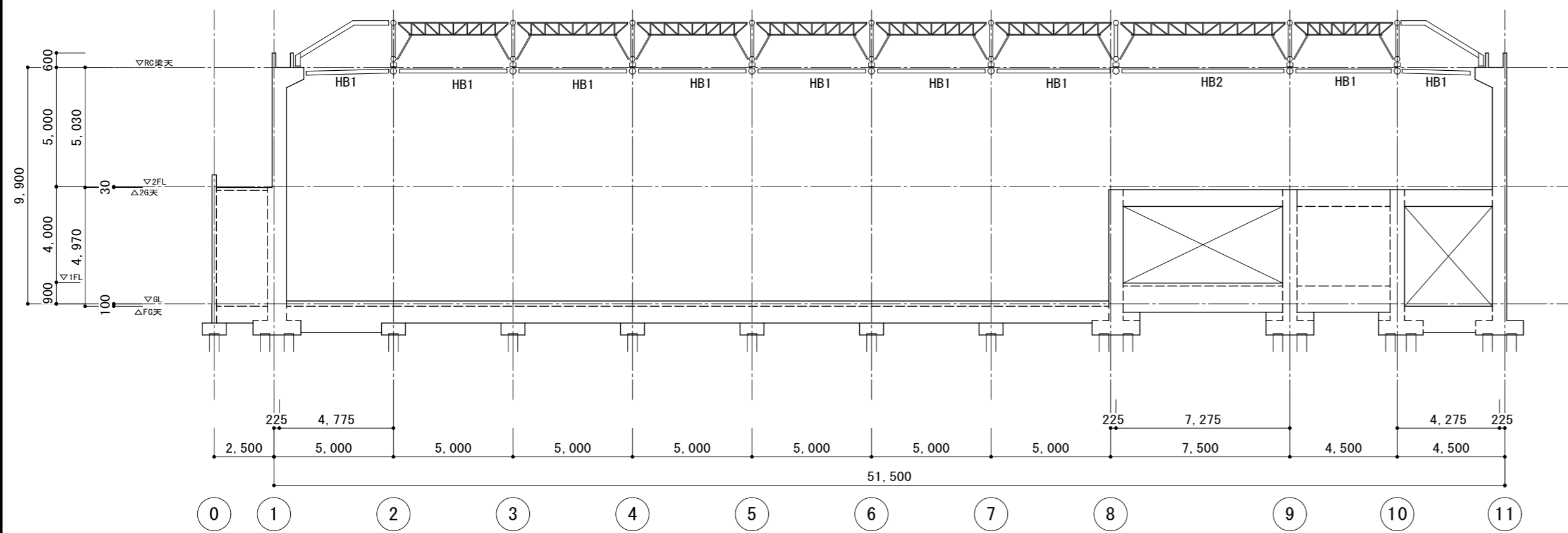




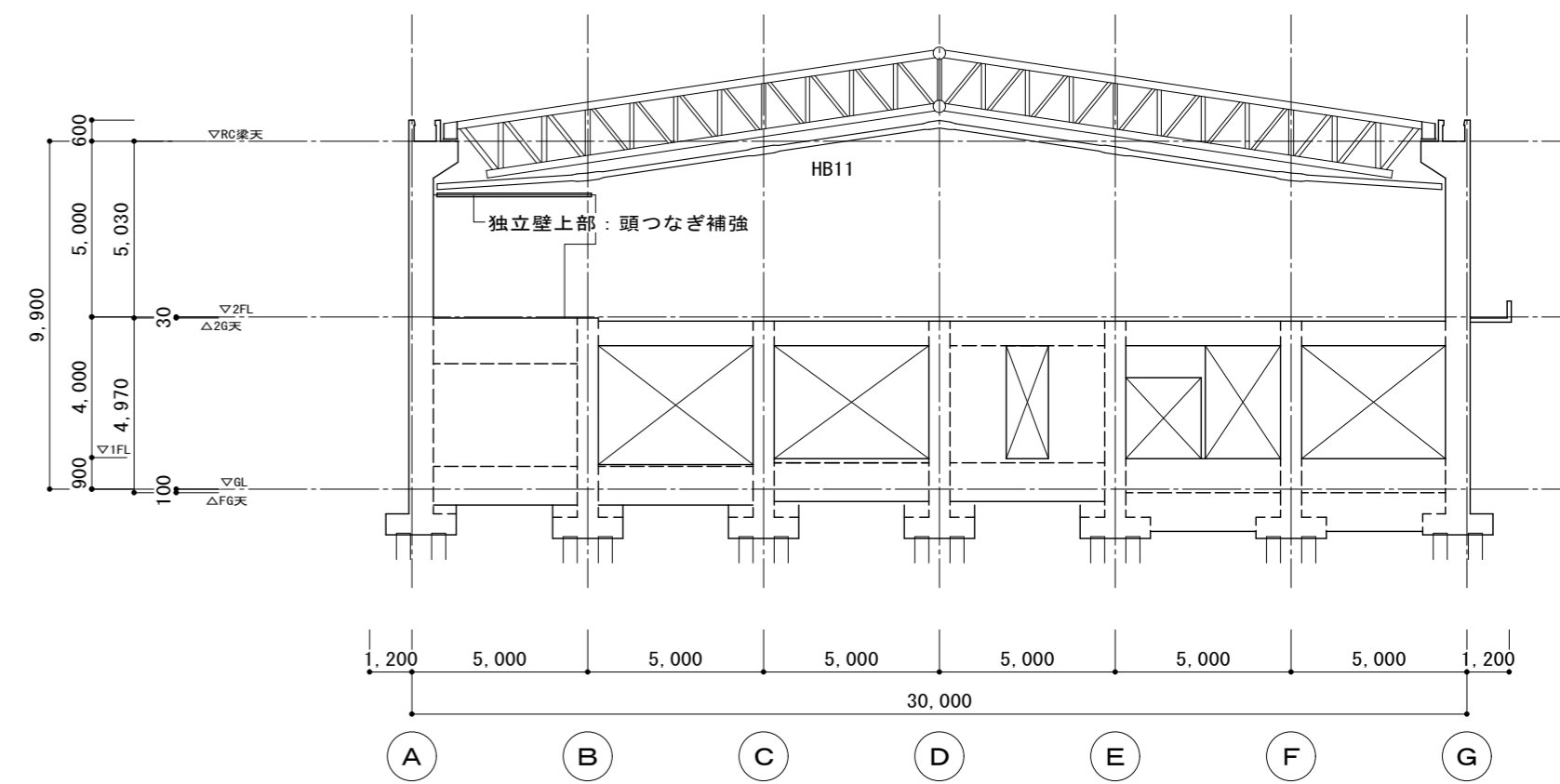
補強 D通り軸組図 S=1:200



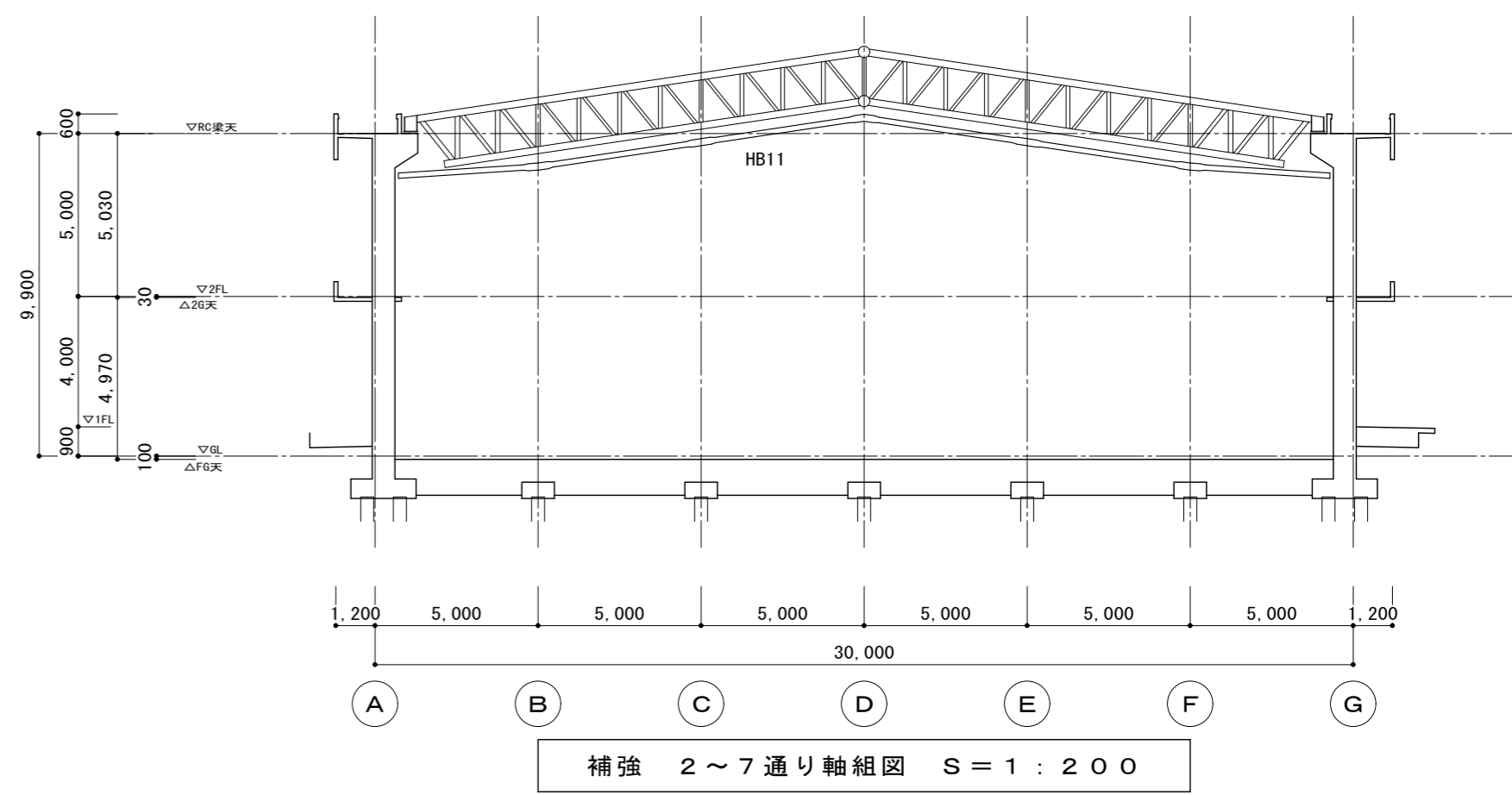
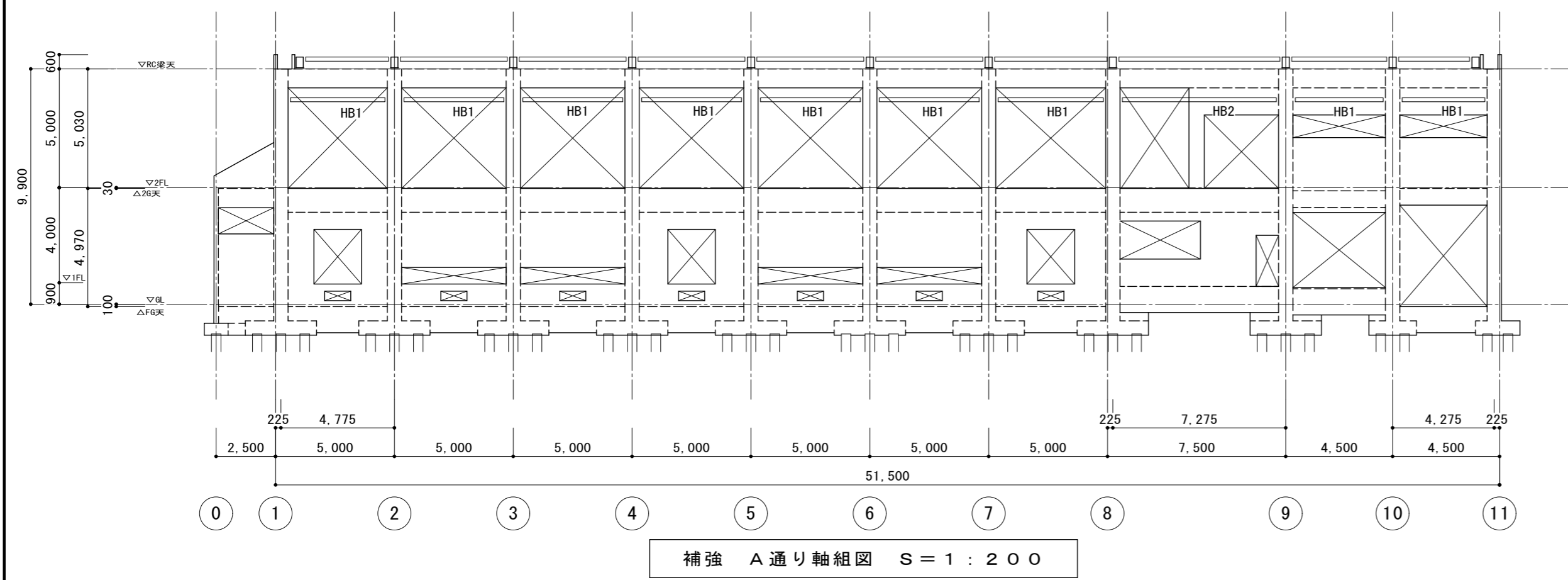
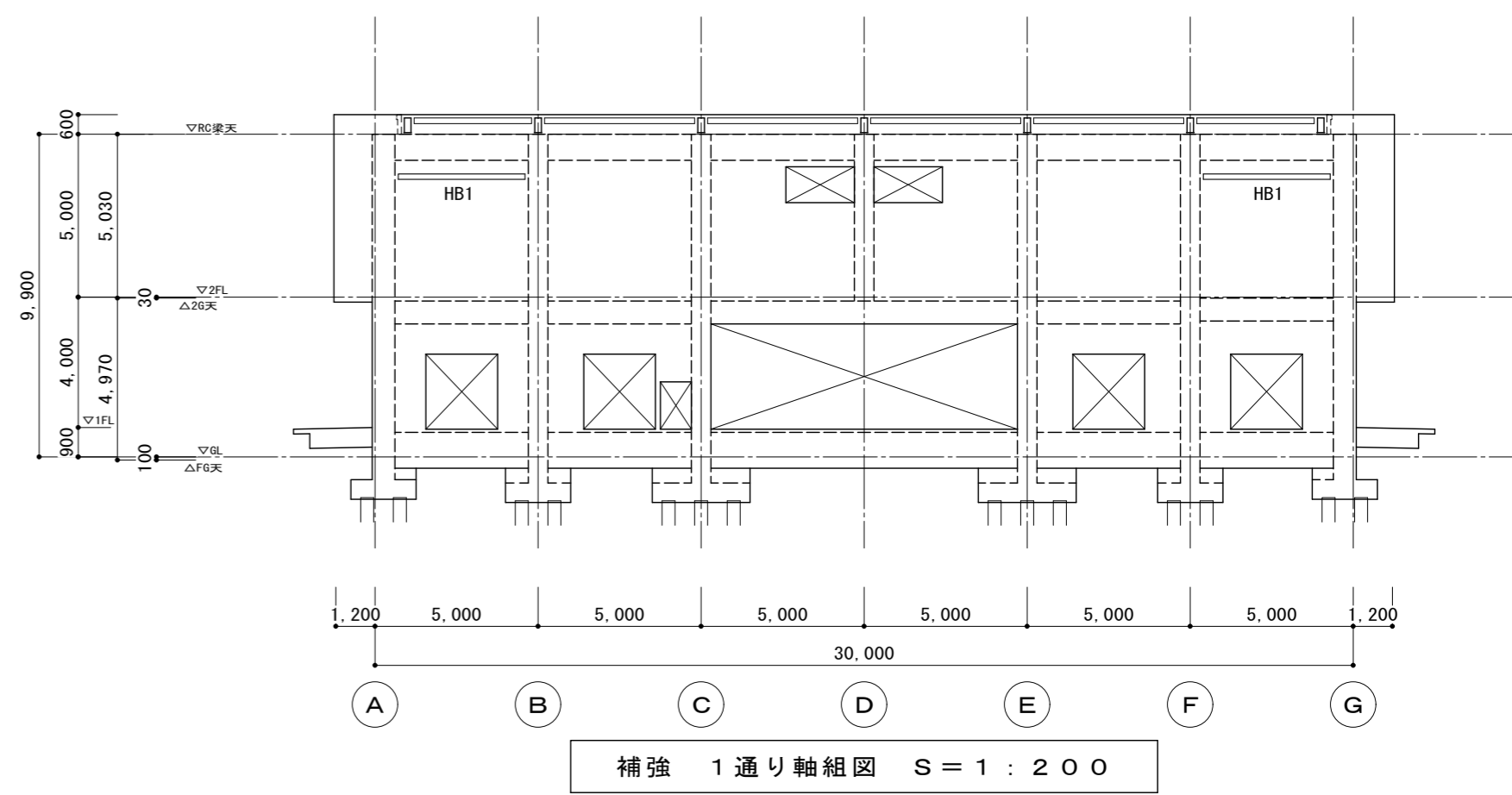
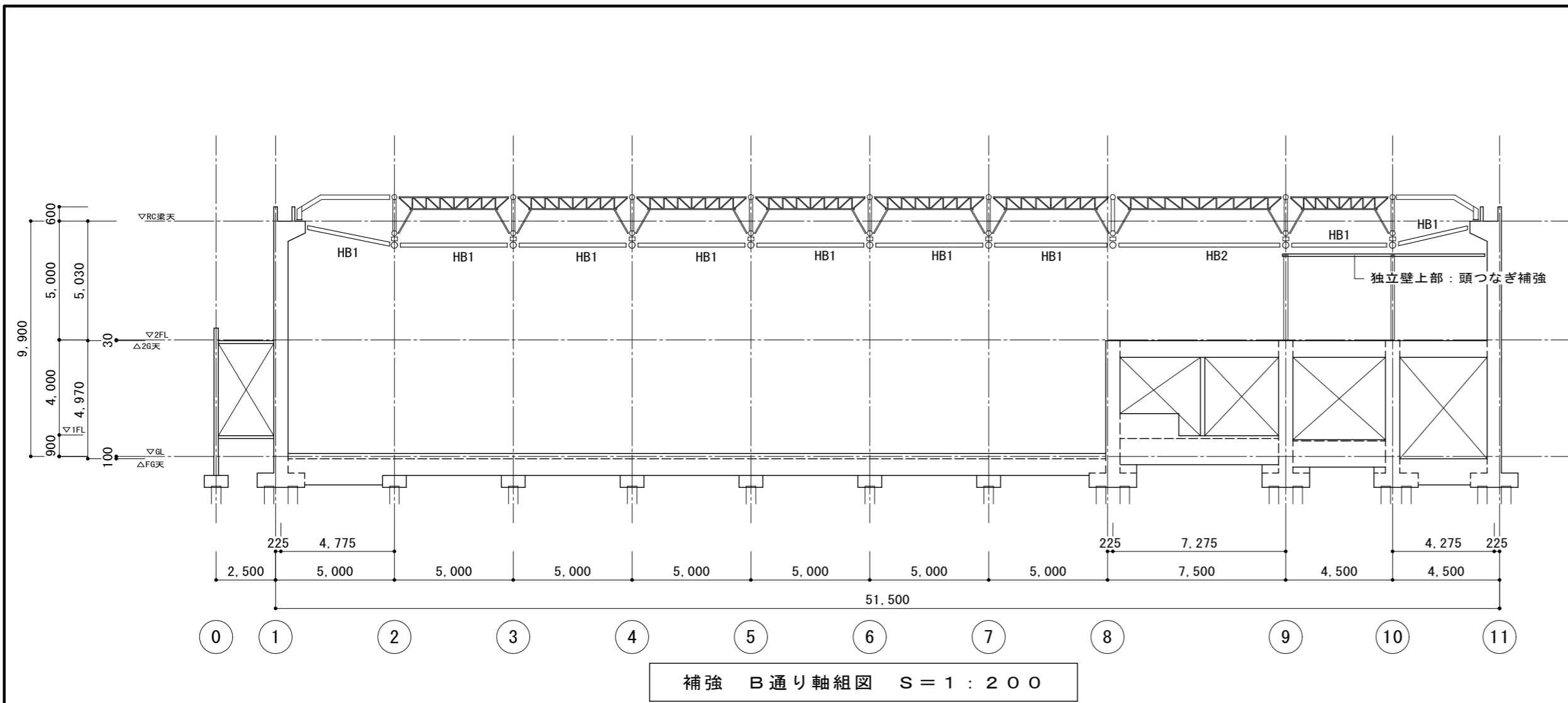
補強 8通り軸組図 S=1:200



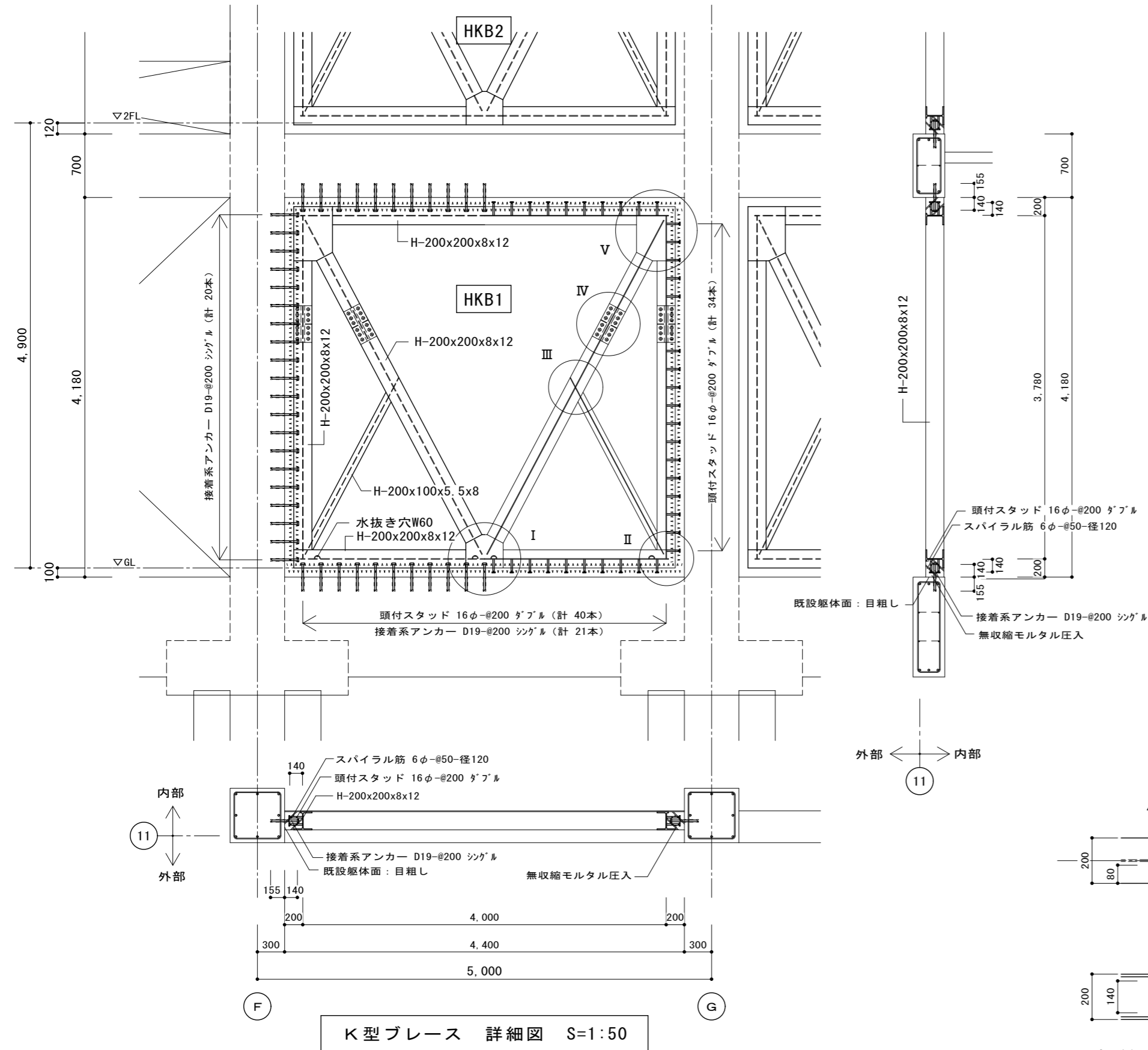
補強 C通り軸組図 S=1:200



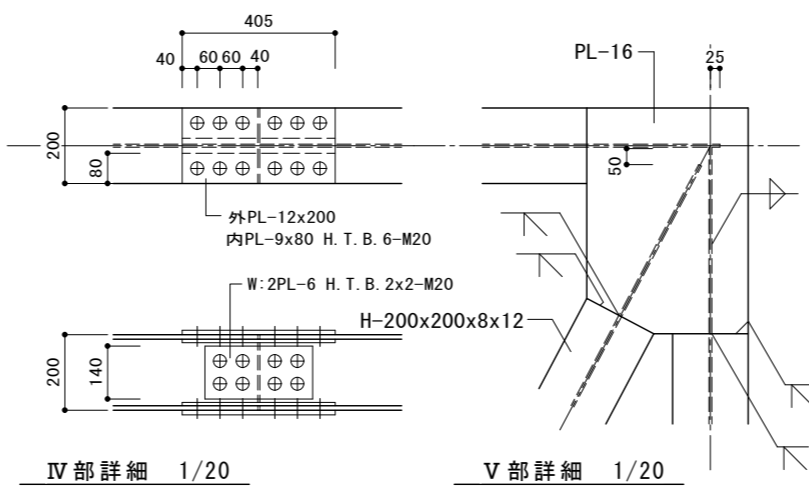
補強 9通り軸組図 S=1:200



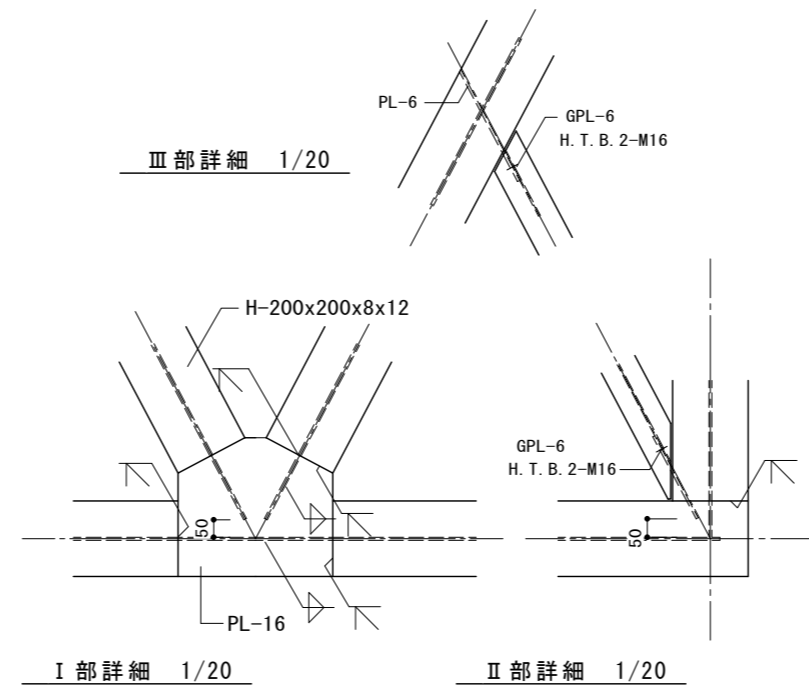
11通り 補強詳細図



K型ブレース 詳細図 S=1:50

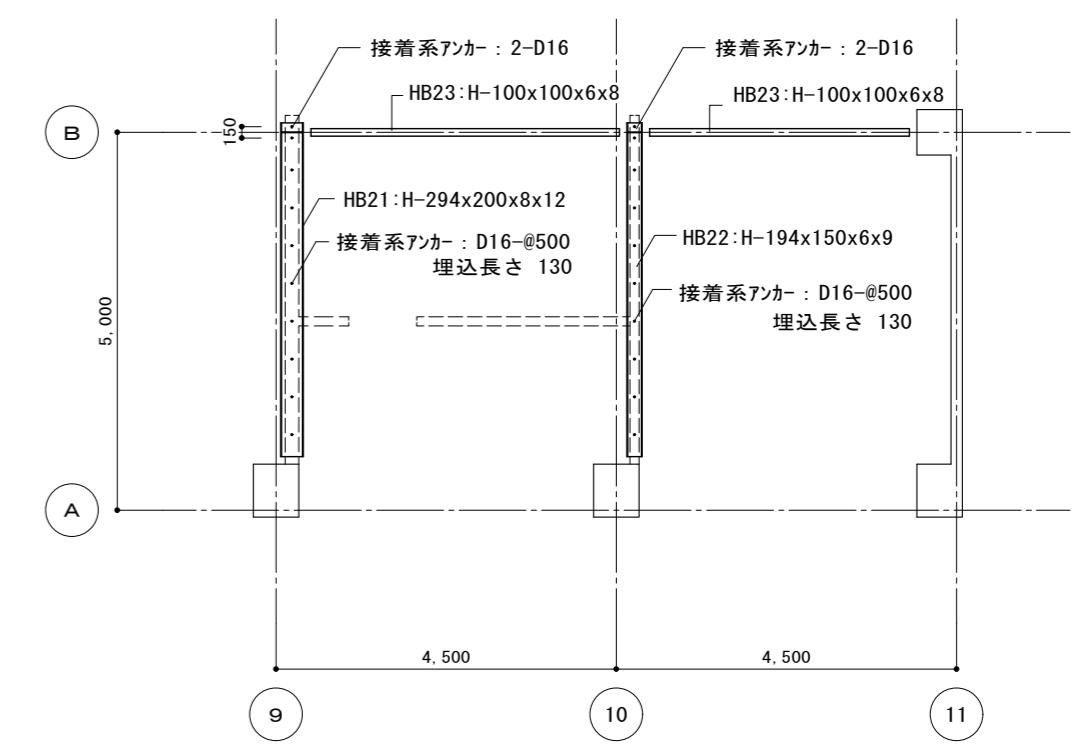


IV部詳細 1/20 V部詳細 1/20

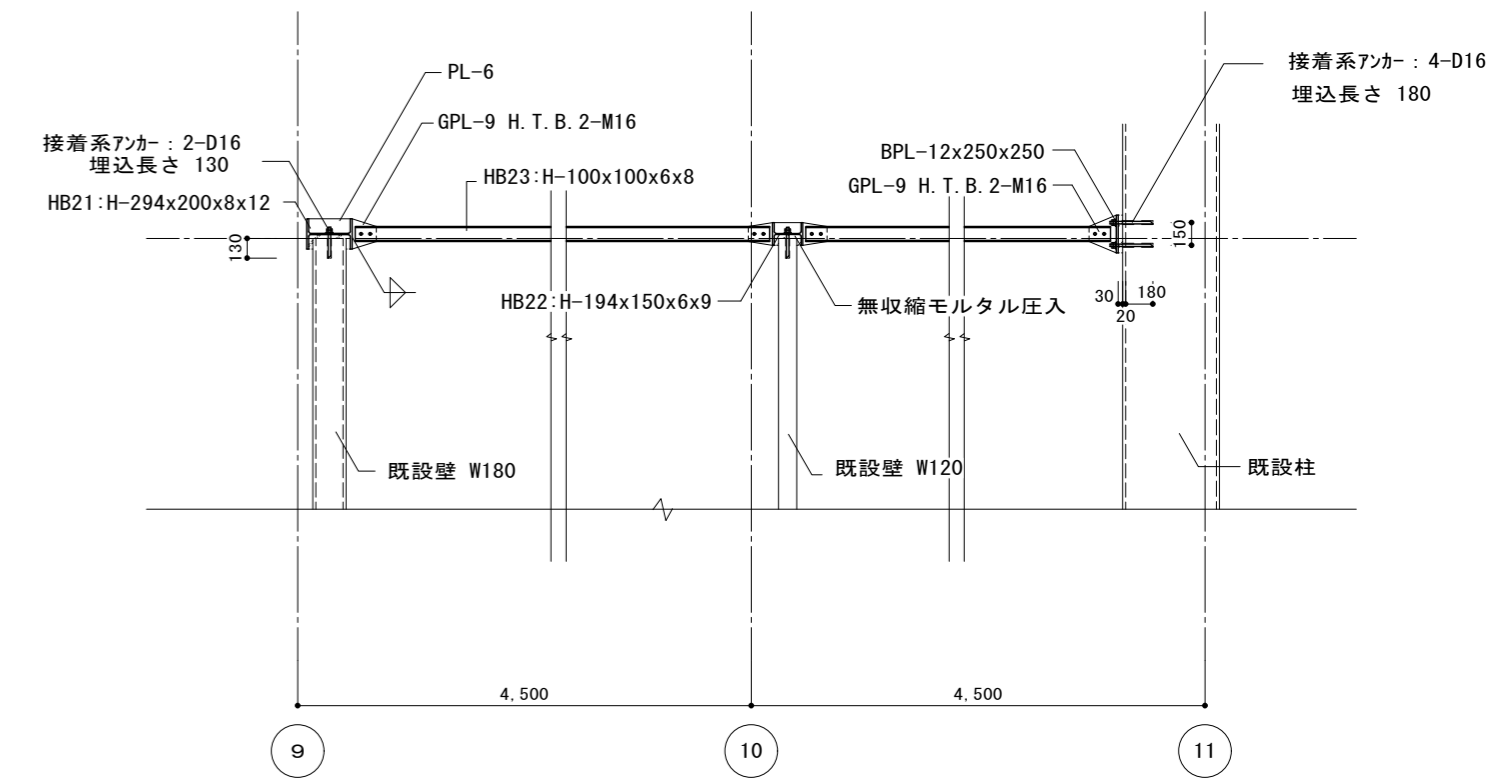


I部詳細 1/20 II部詳細 1/20 III部詳細 1/20

2階 A-B間・8-9間 補強詳細図



頭つなぎ補強 伏図 S=1:100



頭つなぎ補強 軸図 S=1:50

使用材料

- 鉄骨骨組み及び接着系アンカー位置は現場寸法を十分調査のうえ施工すること。
- ノンスカラップ工法とする。
- 無収縮モルタル圧入は専門業者の責任施工とする。
- 溶接技能者（（社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者）
- 鋼材 鉄骨 SN400B 高力ボルト HKB2: S10T HKB1: S8T (溶融亜鉛めっき高力ボルト) ※建築基準法に基づく認定品
- 無収縮モルタル 無収縮モルタル圧入 $F_c = 30 \text{ N/mm}^2$
- あと施工アンカー 樹脂接着系アンカー (メーカーにより素材強度が保証されたもの)
- アンカー筋 接合筋: ナット付異形棒 頭付 SD345 引当筋 SR235

※溶接箇所は外観検査のほか、超音波探傷試験を行い確認する。
 ※アンカー打設前には、鉄筋探査を行う。
 ※あと施工アンカーの引張試験を行う。
 ※無収縮モルタル試験を行う。

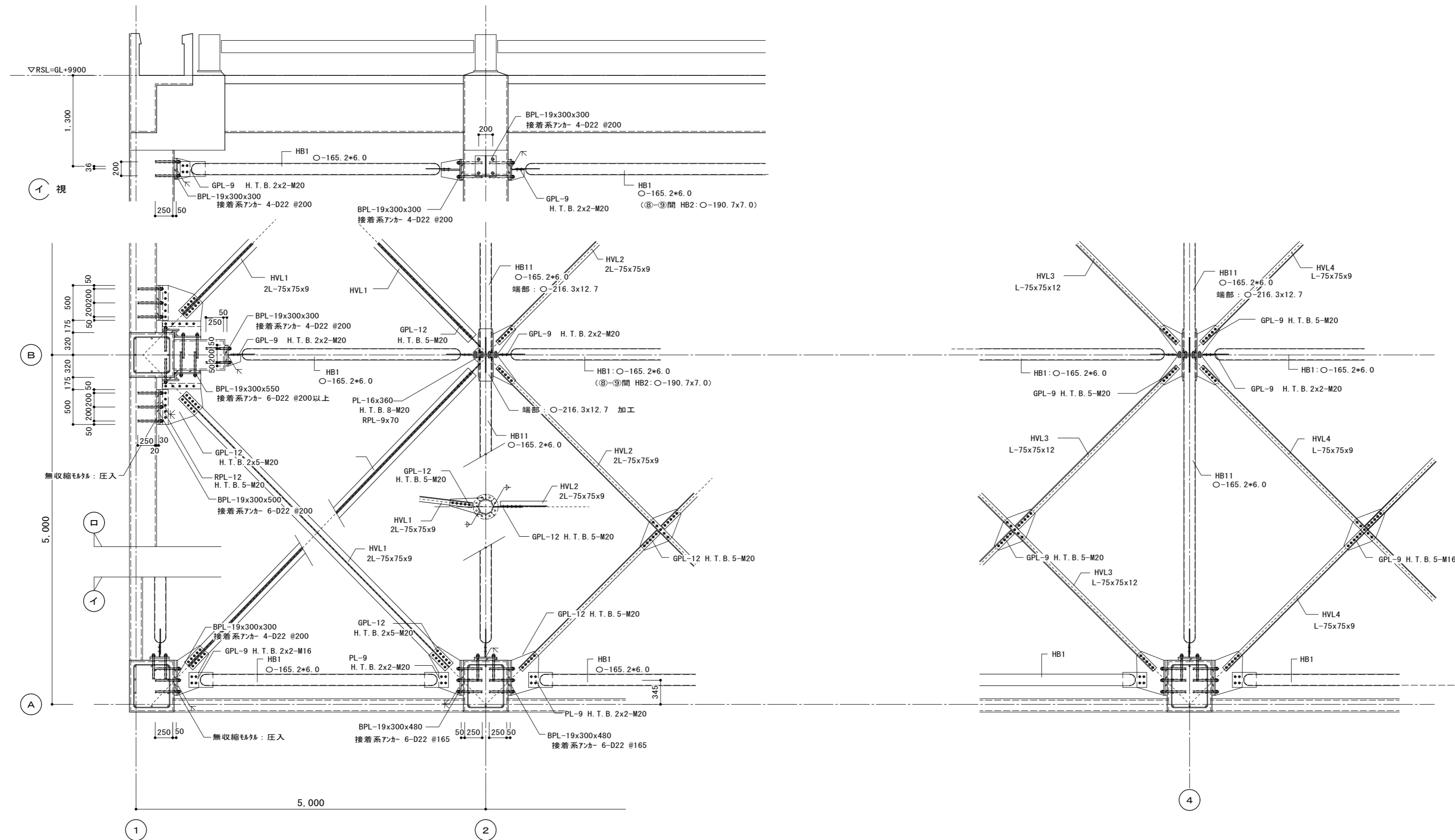
塗装仕様

HKB2: さび止め塗装 D種 JIS K 5551 (構造用さび止めペイント A種) 見え掛り部分 EP-G塗装

HKB1: 溶融亜鉛めっき塗装

- 種類: A種-JIS H 8641-HDZT77
- 作業: めっき作業は、JIS認定工場にて行う。
- 検査: 付着量試験は、JIS H 0401に規定する間接法とする。外観検査を実施する。検査結果報告書を提出する。
- 摩擦面: めっき処理をする。その後プラスト処理をする。その他の方法は監督員の承諾を得ること。

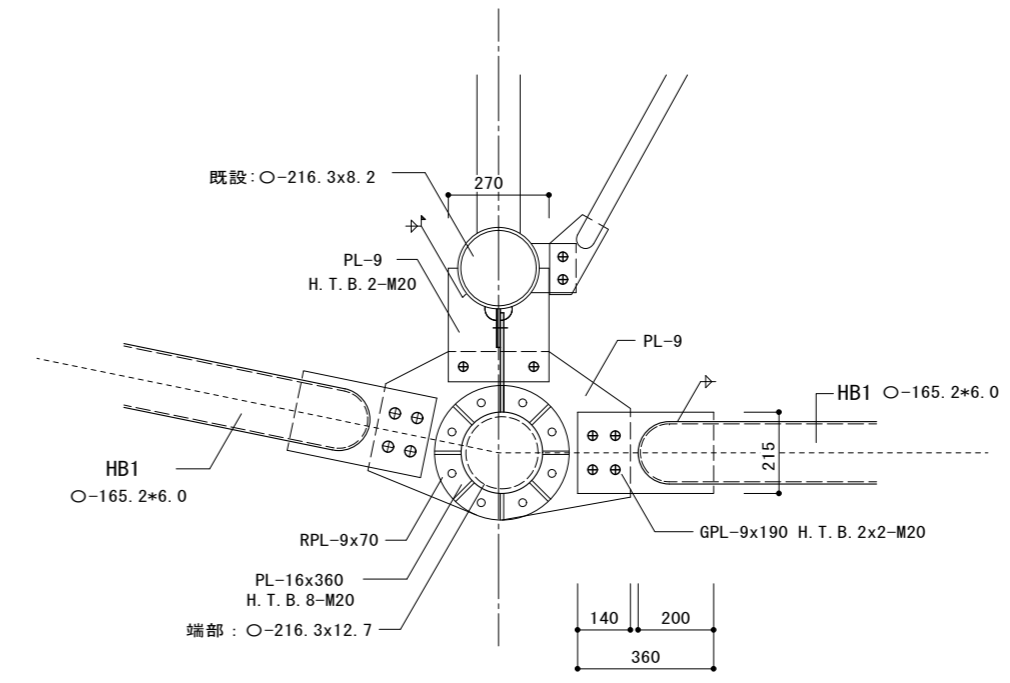
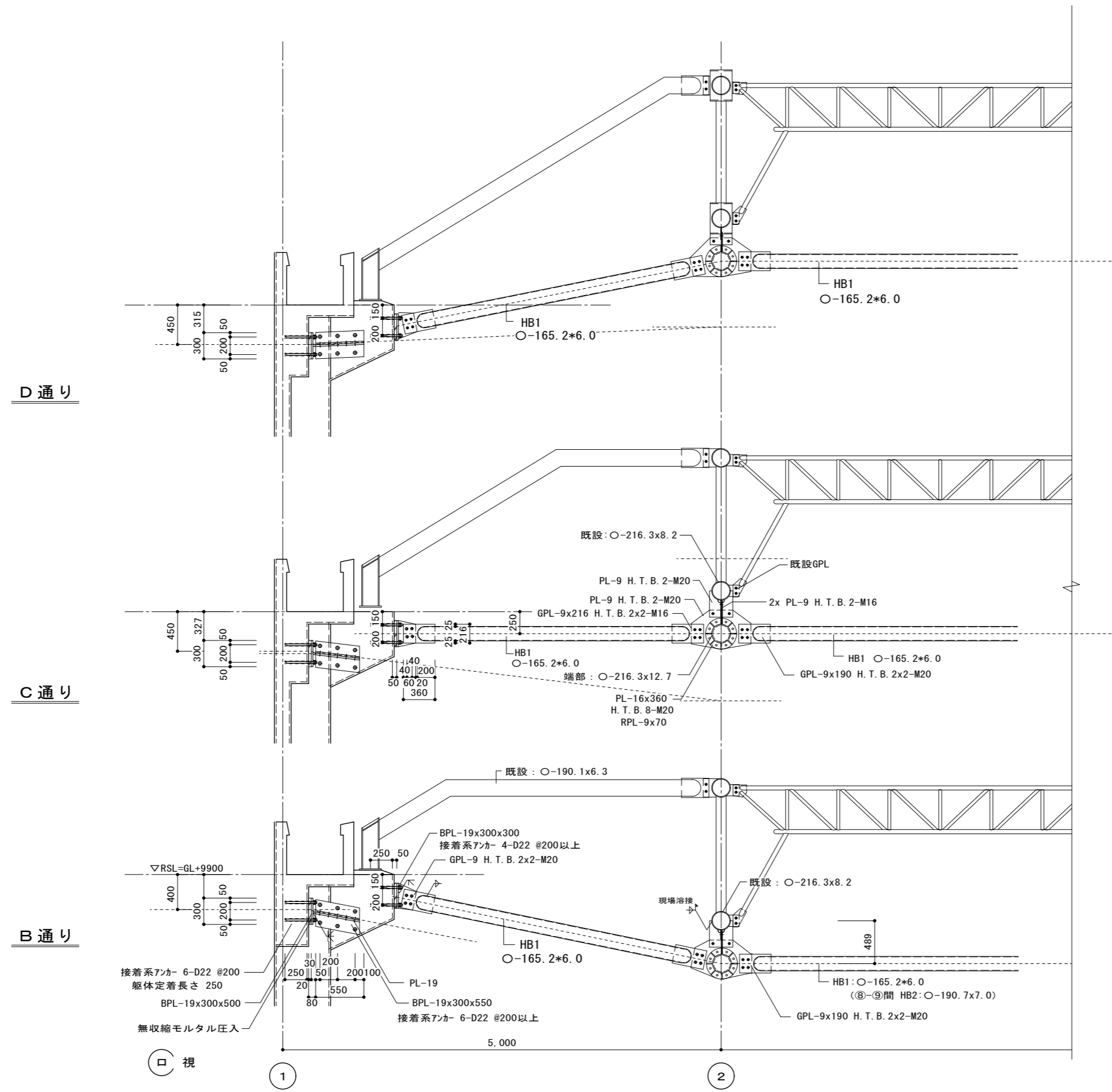
＝使用材料＝	＝品質管理＝
鋼材: STK490級、プレート等: SN490B	※溶接箇所は外観検査のほか、超音波探傷試験を行い確認する。
高力ボルト: S10T	※アンカー打設前には、鉄筋探査を行う。
あと施工アンカー 樹脂接着系アンカー (メーカーにより素材強度が保証されたもの)	※あと施工アンカーの引張試験を行う。引張試験(非破壊引張試験): 許容引張荷重または終局引張荷重の2/3を加力する。
アンカー筋: SD345	※無収縮モルタル試験を行う。
無収縮モルタル 無収縮モルタル圧入 $F_c = 30 \text{ N/mm}^2$	
※あと施工アンカーの引張試験を行う。引張試験(非破壊引張試験): 許容引張荷重または終局引張荷重の2/3を加力する。	



屋根部 補強詳細図 1 S=1:50

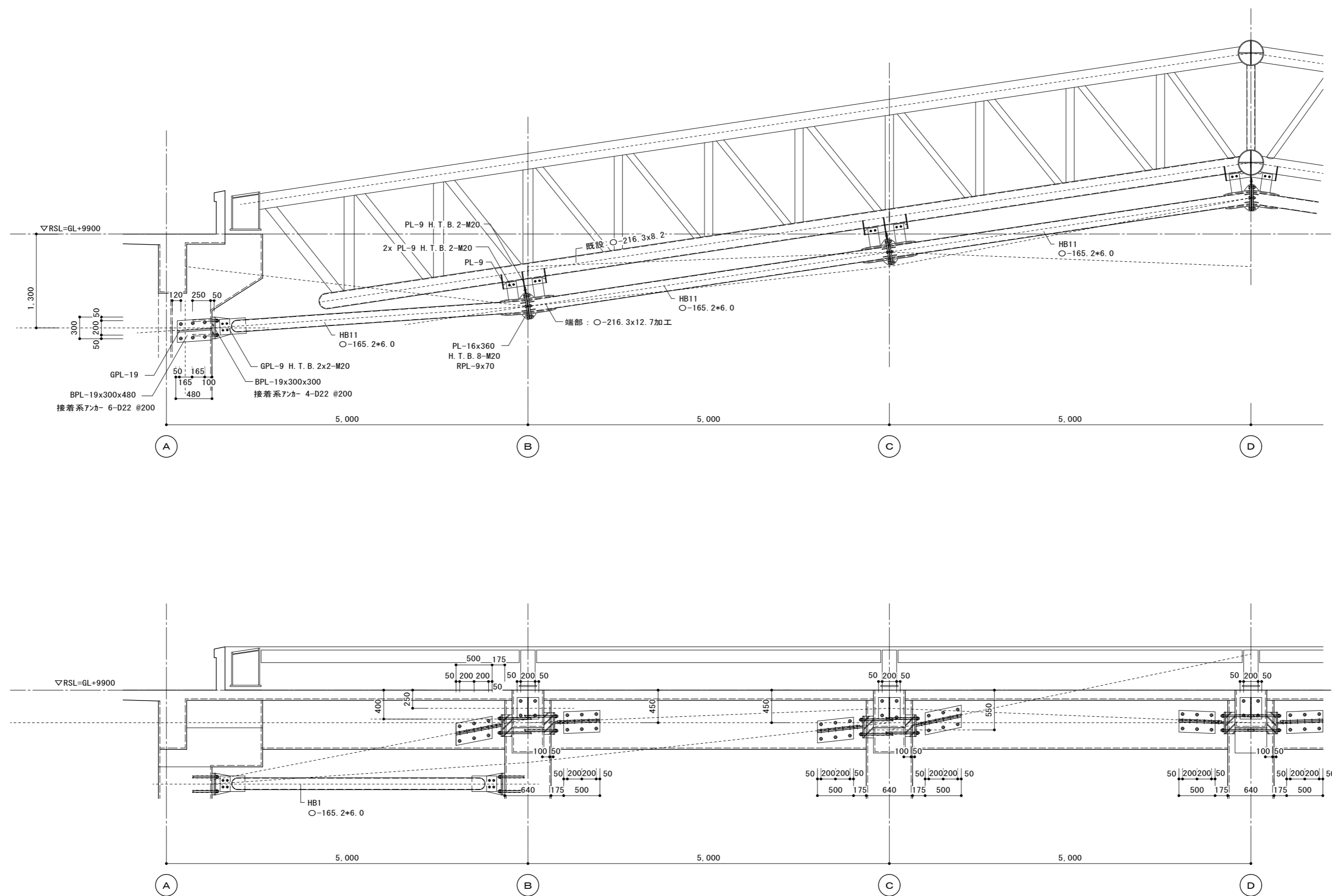
現場測量及び墨付けを入念に行うこと。

=使用材料=		=品質管理=	
鋼材：STK490級、プレート等：SN490B		※溶接箇所は外観検査のほか、超音波探傷試験を行い確認する。	
高力ボルト：S10T		※アンカ打設前には、鉄筋探索を行う。	
あと施工アンカー 樹脂接着系アンカー (メーカーにより素材強度が保証されたもの)		※あと施工アンカーの引張試験を行う。	
アンカー筋：SD345		引張試験(非破壊引張試験)：許容引張荷重または終局引張荷重の2/3を加力する。	
無収縮モルタル	無収縮モルタル圧入 $F_c = 30 \text{ N/mm}^2$	※無収縮モルタル試験を行う。	

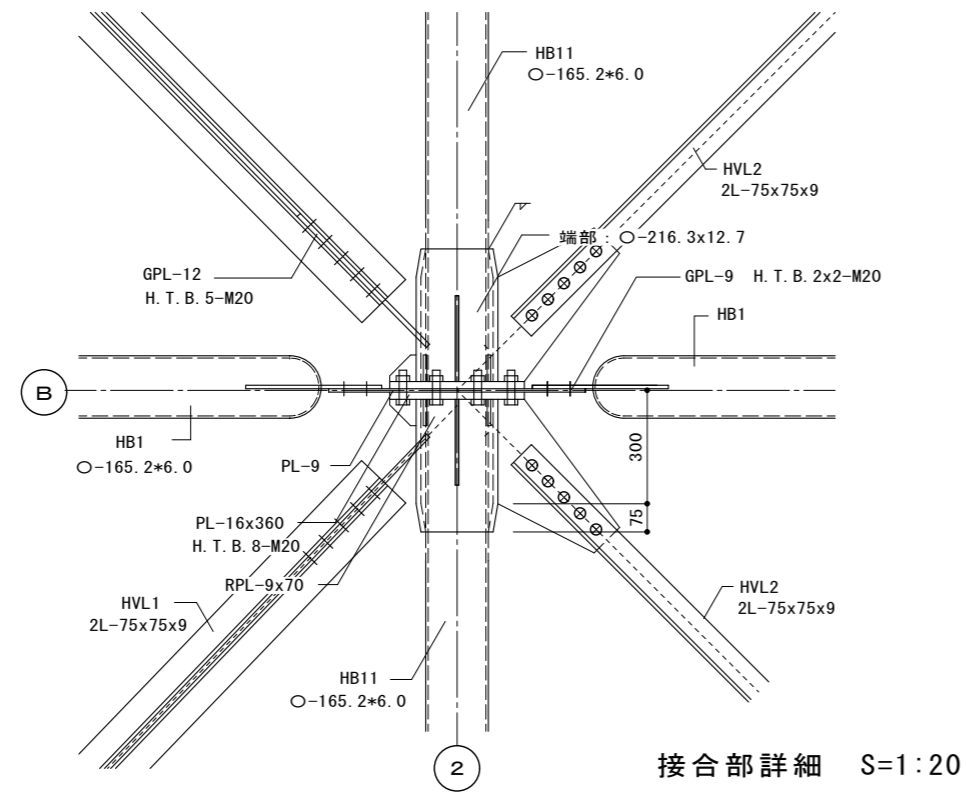


屋根部 補強詳細図 2 S=1:50

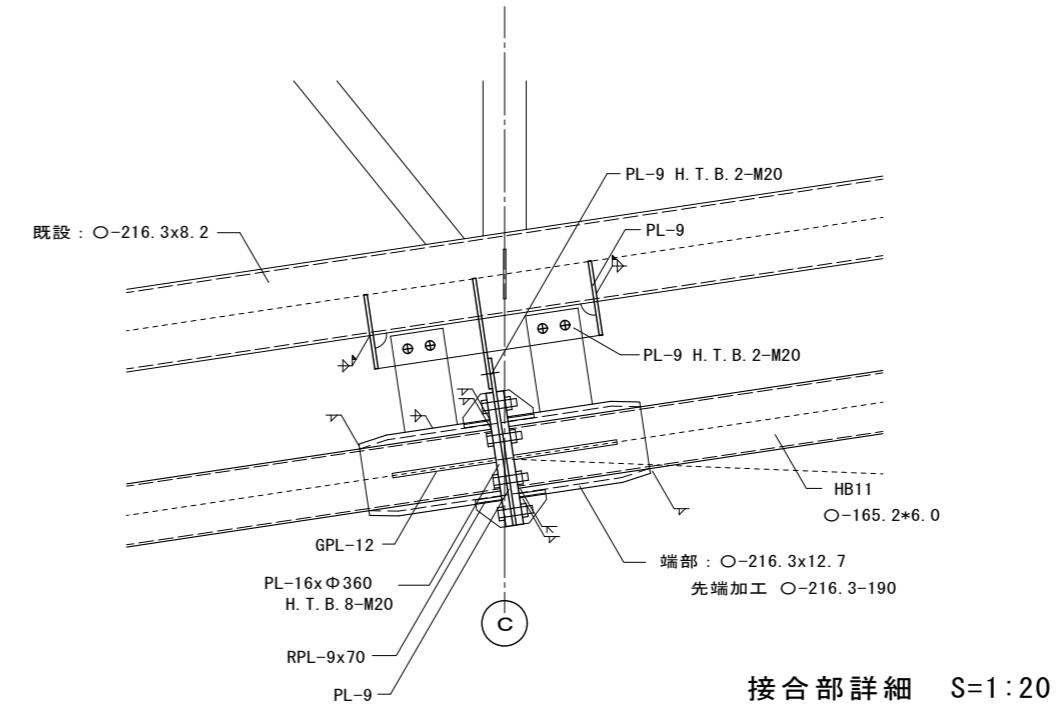
--	--	--	--



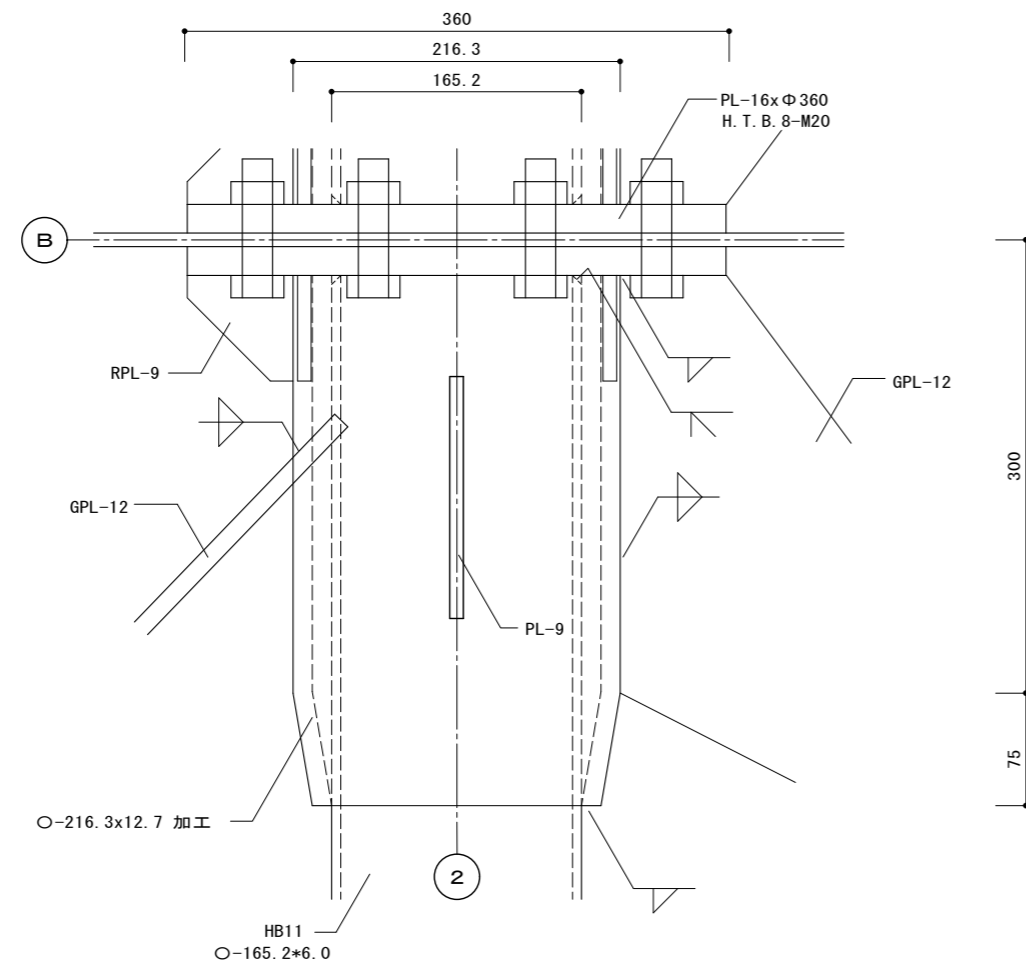
屋根部 補強詳細図 3 S=1:50



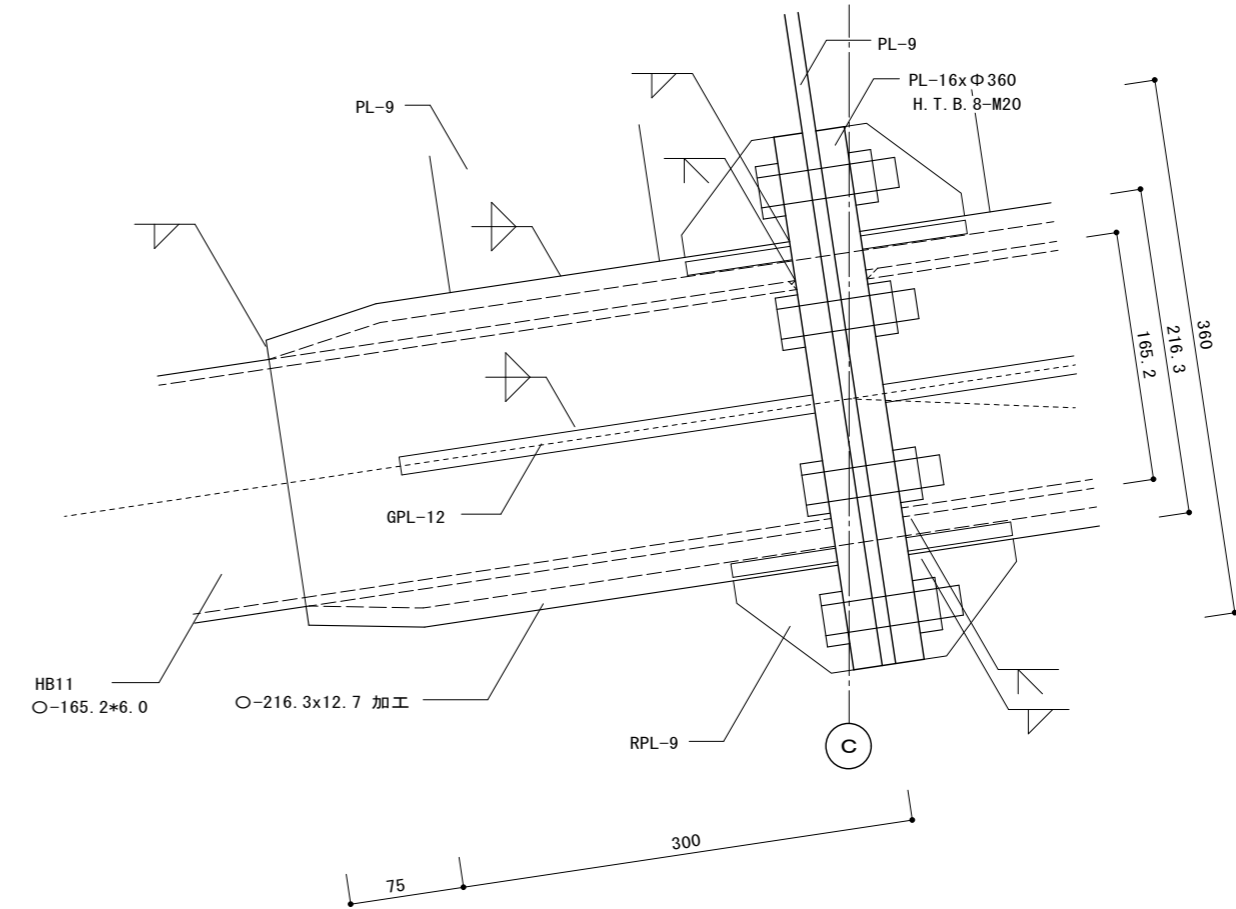
接合部詳細 S=1:20



接合部詳細 S=1:20



溶接部詳細 S=1:5



溶接部詳細 S=1:5
